

2017年10月10日

## JPCOAR スキーマ FAQ

- Q1. IRDBのjunii2形式でのハーベスティングはいつまで行われるのですか？
- A1. 当面の間、junii2でのハーベスティングも継続して行う予定です。junii2でのハーベスティングを停止する時期については、JPCOARスキーマの普及状況を見て判断します。
- Q2. これまでにリポジトリに登録されたデータはどのような扱いになるのでしょうか。
- A2. データが自機関のリポジトリに適切に格納されており、junii2でのハーベストが適切に行われていれば、junii2からJPCOARスキーマへの変更は大きな問題にはなりません。現在、JPCOARスキーマに対応した新しいIRDBを準備中です。当面は、junii2でハーベストしたものを新しいIRDBがJPCOARスキーマに変換します。新しいIRDBではJPCOARスキーマでのハーベストも行います。  
なお、2018年度から、JPCOARスキーマに対応したIRDBにて、改めて全件ハーベストを実施します。このとき、検索やアクセスがしやすいデータを流通させるという観点から、データ取り込み時のデータチェックをこれまでより少し厳しく行う予定です。取り込み結果については、各機関へのフィードバックを行うことも検討しています。
- Q3. 現在リポジトリに登録されているメタデータを、JPCOARスキーマで出力したいと思っています。各項目の出力先を検討するにあたって、参考となる情報はありますか？
- A3. 資料3の定義ドキュメントにおいて、「項目名(junii2)」(R列)と「要素名(junii2)」(S列)でJPCOARスキーマとjunii2の対応を示しておりますので、junii2での出力をJPCOARスキーマでの出力に変更する際の参考にしてください。  
また、JPCOARスキーマに対応したIRDBでは、ハーベストしたメタデータを担当者が画面上から確認できるようになり、自機関がjunii2で出力したデータが、どのようにJPCOARスキーマに変換されたのかを確認できるようになります。その画面を参照しつつ、出力先の項目などをご検討ください。
- Q4. エンバーゴのあるコンテンツの場合「5 アクセス権」は「embargoed access」となりますが、エンバーゴ期間の経過後にこの値を「open access」に変更する必要がありますか？
- A4. はい、その通りです。  
エンバーゴ期間の経過後には「5 アクセス権」の値を「open access」に変更してください。ただし、「12日付」「35.4日付」のdateType属性が「Available」のものを削除する必要はありません。
- Q5. メタデータを記述するには、資料に書かれているそのままを転記すればよいのでしょうか？
- A5. はい、転記が原則となります。

- Q6. 巻 (volume) や号 (issue) に「上」「下」や「増刊号」などと記述してもよいのでしょうか。
- A6. 「25 巻」および「26 号」については、「アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記する。」ことをお願いします。
- Q7. 「〇〇記念号」や「〇〇特集号」といった巻号を記述したいのですが、「issue.alternative」のような項目がありません。どこに記述すればいいのでしょうか。
- A7. 「10 内容記述 (datacite:description)」のdescriptionType属性=" other" に記述してください。
- Q8. 博士論文が国立国会図書館に提出される条件に「著者版フラグ (textversion) がETDであること」とありますが、JPCOAR スキーマでは textversion の項目が無いようです。博士論文を国会図書館に収集してもらうには、どのようにメタデータを記述すればよいのでしょうか。
- A8. 以下のように記述してください。
- ・「14 資源タイプ (coar:resourceType)」 → "doctoral thesis"
  - ・「5 アクセス権 (coar:accessRights)」 → "open access"
  - ・「32 学位授与年月日 (dcndl:dateGranted)」 → 所定の形式で値を記述
  - ・「31 学位名 (dcndl:degreeName)」 → 値を記述
  - ・「33 学位授与機関 (jpcoar:degreeGrantor)」 → 所定の形式で値を記述
  - ・「30 学位授与番号 (dcndl:dissertationNumber)」 → 所定の形式で値を記述
  - ・「35.1 本文 URL (jpcoar:URI)」 → URL を記述、objectType 属性=" fulltext"
- Q9. JPCOARスキーマでは「著者版フラグ (textversion)」がありませんが、博士論文の本文とその要約、要旨はどのように見分けられるのですか？
- A9. いずれも「14 資源タイプ (coar:resourceType)」は"doctoral thesis"となりますが、「35.1 本文URL (jpcoar:URI)」のobjectType属性がそれぞれ異なります。本文であれば"fulltext"が、要約であれば"summary"が、要旨であれば"abstract"が入力されます。
- Q10. JPCOARスキーマに無い資源識別子や大学独自の著者IDを入力したいのですが、どうすればよいですか？
- A10. 学術情報流通の状況を鑑み、JPCOARスキーマでは、標準的な識別子を種類とセットで記述し、国内外の関係サービスへ流通させる方針としています。機関独自の識別子については、ローカルのリポジトリシステムでの管理をお願いします。

なお、今後もフィードバックや IRDB への適用状況等を受けて、順次内容を更新していく予定です。